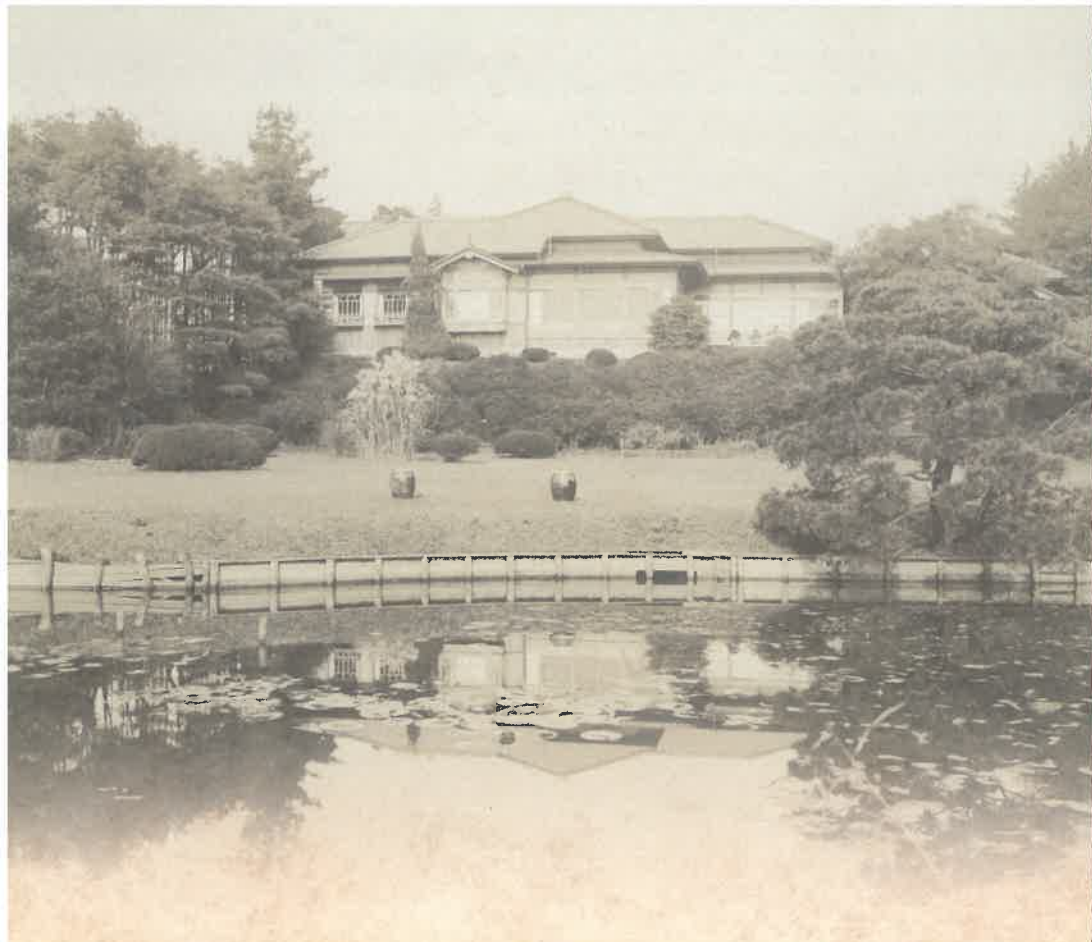


杉並区有形文化財「萩外荘近衛家関係資料」指定記念企画展

三人をつなぐ「萩外荘」

てきがいそう

入澤達吉・伊東忠太・近衛文麿



大正天皇の侍医 入澤達吉



建築の父 伊東忠太



公爵宰相 近衛文麿

最初にこの場所へ居を定めたのは、大正天皇の侍医頭を務めた入澤達吉です。建築を指揮したのは、築地本願寺などを設計したことで知られる建築家伊東忠太で、義兄の入澤は、この場所を「ふうしかくちよ楓萩凹處」、邸宅を「ふうしかくちよ楓萩荘」と名付けました。

その後、この場所を入澤から譲り受けたのが、戦前、日本の首相を三度務めた近衛文麿です。「楓萩荘」は、文麿居住後、「萩外荘」と名を変え、近衛内閣時代における重要な政治会談や組閣の舞台となりました。

本展では、平成29年度に区指定有形文化財となった「萩外荘近衛家関係資料」を中心に、入澤家所蔵の未公開資料や、関係資料も併せて、「萩外荘」と三人の人物との関わりに焦点をあてた展示を行います。

平成30年 5月26日土 ~ 7月16日月

杉並区立郷土博物館 Suginami Historical Museum